

地区小中学校アナウンス・ビデオ教室

5月31日に小学生、6月13日に中学生を対象としたアナウンス・ビデオ教室に、地区内の小中学生合計64名が参加して盛大に行われました。アナウンスの講師にフリーアナウンサーの田中記子さん、ビデオ撮影編集の講師に北村山視聴覚教育センターの職員が担当し、年1回の貴重な学習を熱心に取り組みました。

アナウンスでは、講師の田中さんから大きく呼吸をすることや腹から声を出すこと、伝えたいところを強調して話すことなどを学びました。また、ニュース原稿などを制限時間内に読み終える練習もして、聞き手が聞きやすいスピードやアクセントに気を付けることの大切さに気付くことができました。

ビデオ撮影編集では、「視聴覚センターを学校の人に紹介すること」をねらいにしてショートムービー制作に取り組みました。見る側に何を伝えたいのかを考えて撮影することや撮る角度によって映像の印象が変わることなどを学びました。また、パソコンを使って映像を編集するときは、映像が違和感なくつながるように工夫して取り組んでいました。

参加した児童生徒は、「今日のアナウンスを学校でも生かしたい」「学校紹介や文化祭のムービー制作に生かしてみたい」と感想を話してくれました。



きれいに見えたよ！土星と木星

6月17日(土)に春の天体観望会を開催し、北村山地区内外から約200名の参加がありました。当日は天気にも恵まれ、参加者全員が天体望遠鏡や大型双眼鏡を使って、初夏の夜空を彩る土星と木星の共演を楽しみました。参加した小学生は、「本で土星の様子を見たことがあったけど、自分の目で土星の環があることをしっかり確認できて、参加してよかった。」「木星のしま模様とガリレオ衛星も見られてよかった。」、また大人の方は、「自分で実際に土星や木星を確かめることができてよかった。子供の気持ちになった気分。」「私が小さい頃は、星を見るチャンスがなかったけど、今の子供たちは惑星を見るチャンスがあっとうらやましい。」と実体験のすばらしさなどの感想を語ってくれました。次回は『8月12日(土)ペルセウス座流星群の観察』です。

*** 今月の機材教材紹介 ***

投影用自立式スクリーン



スクリーンの老朽化により、今年度2台新規購入いたしました。これまでのスクリーンは4:3のアスペクト比(画面の大きさの割合)でしたが、現在のテレビ・映画等のアスペクト比にも対応する16:9のスクリーンです。これを使えば、4:3の大きさのスクリーンに16:9の映像を投影したときにでる上下に余白がなくなり、よりすっきり鮮明に投影することができます。ぜひ、プロジェクターとセットでご利用ください。

視聴覚センター所有の主な貸出用スクリーンは以下の通り

機 器 材 名	大きさ(cm)	台数	アスペクト比
壁掛け軽量スクリーン	80×60	1	4:3
布スクリーンワイド	560×210	1	8:3
布スクリーン(普通)	240×180	3	4:3
布スクリーン(大)	260×200	1	5:4
布スクリーン(特大)	350×260	1	4:3
自立式スクリーン(大)	200×150	4	4:3
自立スクリーン(小)	160×120	2	4:3
(新)自立式スクリーン(大)	215×134	1	16:9
(新)自立式スクリーン(小)	172×108	1	16:9

視聴覚教育講演会の案内

7月28日(金)に中央講師をお招きしての視聴覚教育講演会を開催します。今年度は、仙台市立六郷小学校長の菅原弘一先生を講師に、『タブレット端末を活用した主体的・対話的で深い学びの実現』をテーマにして研修する予定です。すでに各学校にご案内している通り、複数台のタブレット端末を活用した模擬授業を体験しながら、テーマに迫っていく内容となっています。今後、各学校でICT環境の整備が計画されているなかで、効果的な活用についてみなさんと一緒に研修しましょう。

日時：7月28日(金) 午後2時00分～4時30分
(受付 午後1時40分から)

場所：東根市立大森小学校(大森ホール)

申込方法：各学校に送付済みの申込用紙に必要事項を記入して、7月14日(金)まで視聴覚センターまでFAXで申し込んでください。

7月の移動学習計画

お待ちしております!!

- 3日 宮沢小2・3年生
- 4日 西郷小3年生
- 5日 宮沢小4・5年生
- 6日 小田島小4年生
- 10日 高崎小4年生
- 11日 長瀬小6年生
- 12日 西郷小1年生
- 13日 西郷小5年生
- 14日 戸沢小6年生
- 18日 東郷小4年生
- 19日 宮沢小6年生
- 20日 常盤小5・6年生